

## 4 鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業の評価結果について

鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の地方創生推進交付金関連事業に対する内部評価結果について次ページ以降に示しました。

1 全体事業概要

<p>事業名</p>	<p>三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業</p>
<p>事業概要</p>	<p>神奈川県及び三浦半島4市1町の広域連携による事業として、平成28年度から令和元年度までの4ヵ年計画で実施しているもので、鎌倉市では平成29年度から3つの構成事業を実施している。事業概要としては交付金の実施計画で次のとおりとしている。</p> <p>県では、市町との緊密な連携の下で、地域が一体となって、それぞれの事業に取り組む「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を策定し、「観光」と「暮らし」に焦点を当てて、「海」、「食」、「地域」、「働く」、「住む」の5つの魅力(=政策目標)を最大化し、各政策を連携して機能させることによって、交流人口を増加させ、地域の賑わいをつくり、魅力的な地域とすることで、この地域で働き(仕事)、地域の中で生活する生きがいを創出し、定住人口を増加させ、人口減少に歯止めをかけることを目指している。</p> <p>本プロジェクトを推進するにあたり、三浦半島は、東京、横浜などの大都市に近い割には、海あり、山あり、歴史ありという他の地域にはない優位性を持っている。こうした優位性を地域内外に上手く訴求できれば、人口減少、高齢化、地場産業の衰退という事象に対してテコ入れが図れるのではないかと期待感はあるが、それぞれが展開している対策(空家対策、子育て支援、企業誘致等)の地域間連携、事業継続性には疑問がある。</p> <p>そこで、三浦半島の優位性を半島全体のイメージとして、プロモーションし、かつ、県・市町の様々な施策を訴求対象別の施策としてまとめあげ、事業効果を最大化する「司令塔」として三浦半島地域連携DMOを設立する。</p> <p>三浦半島地域連携DMOは、半島全域の観光プロモーションやマーケティングと戦略推進などによる交流人口の増加を進める。</p> <p>さらに三浦半島での充実したライフスタイル等の情報について拠点を整備して発信することにより、移住促進による人口減少の歯止めを図る。</p> <p>これらの取り組みを支えるものとして、基盤づくりや地域資源の磨き上げ及び地域課題への対応を市町が行うことにより、民間主導による地域経済の循環を生み出す先導的なモデルづくりを進めるものである。</p>
<p>鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ</p>	<p>【基本目標】 2 鎌倉市の魅力に磨きをかけ、新しいひとの流れをつくる                  【基本的方向】 2 観光振興やシティプロモーション等により、更なるブランド力の向上を図ります                  【実施する事業】 10)三浦半島魅力最大化プロジェクトとの連携</p>

2 構成事業実績

事業名	海の魅力向上に向けたイベント	事業課	スポーツ課
	事業計画	平成30年度事業実績(主な成果を含めて記載)	
①	<p><b>【目的】</b> 三浦半島地域の象徴ともなる海や海岸の魅力発信の仕掛けづくりとなるイベントを行う。</p> <p><b>【事業計画】</b> 海水浴シーズン以外の期間の海岸を活用し、海の魅力を感じてもらおうと共に、オリパラ大会の開催に向け、マリンスポーツの楽しさを広め、経験してもらいイベントを開催し、大会に向けた機運醸成を図る。</p>	<p>(1)鎌倉の海に親しむきっかけづくりとなるシンポジウムの開催 9月16日(日)12時から、由比ガ浜海岸にて開催(マリンスポーツフェア第1日目に開催)</p> <p>(2)マリンスポーツフェアの開催 9月16日(日)、17日(月)の8時30分から16時まで、由比ガ浜海岸にて開催。</p> <p><b>【イベント参加者人数】</b> 1,045名</p>	
		<p><b>【平成30年度事業費】</b> 5,758千円</p>	
	課題・改善策	令和元年度の実績	
	<p>当初予定していた鎌倉の海に親しむきっかけづくりとなるシンポジウムは、平成29年度は出演者との詳細な調整ができず中止とした。平成30年度は、早めの調整を行うとともに、多くの参加者が見込め、又、臨場感を感じてもらいながら聴いてもらえるようマリンスポーツフェアと同時開催(9/16)とする。</p>	<p>(1)マリンスポーツフェアの開催 9月28日(土)及び9月29日(日)の8時30分から16時まで、由比ヶ浜海岸にて開催。</p> <p><b>【イベント来場者数】</b> 約3,000名</p> <p>(2)鎌倉でのマリンスポーツの楽しみ方をテーマとしたマリンスポーツ講演会の開催 9月28日(土)及び9月29日(日)12時から12時40分まで、由比ヶ浜海岸にて開催</p>	
		<p><b>【令和元年度事業費】</b> 5,329千円</p>	

②	事業名 ヘルシータウン事業	事業課 市民健康課
	事業計画	平成30年度事業実績(主な成果を含めて記載)
	<p>【目的】 健康、観光を連携したアプリを作成、実証実験を実施し、「健康観光」を推進するとともに、「未病を治す半島宣言」の推進の一助とする。</p> <p>【事業計画】 ウォーキングに関する情報提供、体重・血圧等のデータの見える化、健康状態のセルフチェック機能、アプリ活用状況に応じてポイントを付与するアプリを開発・運用し、健康寿命の延伸及び「健康観光」を促進する。</p>	<p>引き続き事業を運用。平成31年4月1日現在、2,879人が参加登録。9月に第1回抽選会を実施し約300名が当選、3月に第2回抽選会を実施し約400名が当選。</p> <p>【イベント参加者人数】 2,879名</p> <p>【平成30年度事業額】 7,789千円</p>
	課題・改善策	令和元年度の実績
<p>登録人数の伸びが鈍化しているため、利用促進を図るべく、さらなるPRに力を入れるとともに、他事業との連携を強化する。(他課のイベントをポイント付与対象事業とすることで登録者数の増加を目指す等)</p> <p>現在は、20歳以上の市民を対象としているが、今後、市内事業者の参加を可能とし、市全体の健康づくり活動の活性化につなげる。</p>	<p>引き続き事業を運用。令和2年4月1日現在、4,085人が参加登録。9月に第3回抽選会を実施し約300名が当選、3月に第4回抽選会を実施し約300名が当選。</p> <p>【イベント参加者人数】 4,085名</p> <p>【令和元年度事業額】 7,778千円</p>	

③	<b>事業名</b> 鎌倉ライフプロデュース事業 <b>事業計画</b>	<b>事業課</b> 鎌倉国宝館 <b>平成29年度事業実績(主な成果を含めて記載)</b>
	<b>【目的】</b> 世界に誇る歴史的・文化的遺産に恵まれた鎌倉の「文化財」をテーマに鎌倉の魅力を発信し、歴史や文化とともに暮らすまち「鎌倉」のイメージをプロデュースする。 <b>【事業計画】</b> 鎌倉の文化財を様々な視点から捉え、魅力を伝えるためのイベントを実施する。	(1)鎌倉文化財ガイドツアー 平成31年(2019年)3月24日(日) 「鎌倉国宝館直伝! 仏像のキホン(韓国語版・中国語(繁体字)版)」を活用し、浄光明寺、鎌倉国宝館を巡るガイドツアーを開催した。 韓国語:10:30~12:30 参加者6名 中国語(繁体字):14:00~16:00 参加者12名  (2)文化財等魅力発信イベント(音楽イベント) 鎌倉歴史文化交流館、鎌倉国宝館に演奏者を招き、音楽イベントを開催した。 ・REKIBUNコンサート「桜に寄するタベ」 平成31年(2019年)3月22日(金)19:00~20:00 鎌倉歴史文化交流館 交流室 参加者46名  ・鎌倉国宝館音楽イベント「浮世絵&三味線~江戸の音風景~」 平成31年(2019年)3月29日(金)17:15~19:00 鎌倉国宝館 本館展示場 参加者17名  <b>【平成30年度事業額】</b> 3,155千円
	<b>課題・改善策</b>	<b>令和元年度の実績</b>
市内社寺2か所及び鎌倉国宝館を巡るガイドツアーツアー(日、英2カ国語対応)では、当日のツアー中、逐次通訳の時間が足りず、スケジュールリングに苦慮した。また周知が行き届かなかったため、今年度(他言語)のツアー募集においてはPRをより強化し、参加者増に繋げたい。	令和2年(2020年)3月6日に予定していた文化財等魅力発信イベント(音楽イベント)、同年3月15日に開催予定だの鎌倉文化財ガイドツアー(中国語(簡体字)、フランス語)については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となりました。 イベントは中止となったものの、既に作成済みのパンフレット等の事業費分を支出しました。	
		<b>【令和元年度事業額】</b> 1,778千円

### 3 KPIの実績

重要業績評価指標 (KPI)	初期値 (下段:本市単独の初期値)	平成30年度目標値	実績 (下段:本市単独の実績)
①三浦半島4市1町における入込観光客数	平成26年度 3,690万人 (平成26年度2,196万人)	3,930万人	3,663万人 (平成30年 1,987万人)
②各種イベント参加者数	0※2	5.6万人	14.1万人(達成率252%) (平成30年度 4,005人)
③三浦半島4市1町における社会増減	平成27年 △1,582人 (平成27年 70人)	△380人	△630人(達成率60%) (平成30年 879人)
		令和元年度目標値	実績 (下段:本市単独の実績)
		4,000万人	3,553万人 (令和元年 1,902万人)
		60,000万人	未確定 ※1 (令和元年度 約7,085人)
		0人	未確定 ※1 (令和元年 920人)

※1 令和元年の各種イベント参加者数及び三浦半島は、県による公表令和2年11月頃となる予定

※2 本交付金事業における各種イベント参加者数であるため、初期値は0人となる。

### 4 KPI達成に対する評価

評価	KPI未達成の場合の分析
<p>KPI②③については未確定だが、三浦半島4市1町としてはKPI①の目標値を約500万人下回る結果となり、目標達成することができなかった。</p> <p>なお、鎌倉市の実績値について、</p> <p>①は前年度に引き続き、平成26年度の初期値を下回る結果となった。減少した主な要因としては、令和元年の台風15号及び19号が、行楽シーズンである9月から10月に連続して関東に接近し、本市にも大きな被害をもたらしたこと、および2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大が初春の行楽シーズンに重なったことなどによる客数減などが要因と考えている。</p> <p>②は2つの事業それぞれでイベントを開催したものの、例年3月に実施している「鎌倉ライブプロデュース事業」に係る各種イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止としている。また、マリンスポーツフェアの参加者数集計方法が変更となったことから、前年度と一律に比較することは難しいものの、増加傾向を示しており、ヘルシータウン事業のイベント参加者も増加していることから、4市1町でのKPIに寄与することができた。</p> <p>③は平成27年の初期値を大幅に上回る結果となり、今後も様々な機会を捉え、鎌倉の魅力を多方面からPRすることで、社会増を保っていきたいと考えている。</p> <p>いずれの事業についても、4市1町で連携して取組みを進めることにより効果が高まると考えられるとともに、事業による効果は長期的な視点で分析する必要があるため、今後も引き続き事業の推進を図る。また、全ての事業について、課題への取組、改善を継続していく。</p>	